

## 平成 27 年度第 1 回血液検査機器技術委員会議事録

1. 開催日時：平成 27 年 4 月 24 日（金）14:15～15:45
2. 開催場所：ホテルニューキャッスル ダイアモンド
3. 出席者（敬称略）：渡邊、三島、増田、常名、新保、内藤、政元、川手、加藤、小林、近藤、齋藤真、舟久保（田中前委員同席）、原田、遠見、中山、岩村

### 4. 議題

#### 1) 報告事項

##### (1) 委員の紹介

出席委員により自己紹介を行った。

##### (2) 平成 26 年度平成 26 年度第 2 回血液検査機器技術委員会議事録確認 特に意見なし。

##### (3) 学会事務局より HP 改訂に伴う資料提供依頼があり、議事録・セミナー資料を提供した（3 月 19 日）。 三島委員より改訂が近日中に実施される予定であることが報告された。

#### 2) 審議事項

##### (1) 第 5 回血液検査機器技術セミナーの内容について

担当：常名、内藤

テーマ：「血液疾患を見逃さないための工夫」

座長：渡邊 眞一郎 藤沢市民病院 臨床検査科  
坂場 幸治 防衛医科大学校病院 検査部

演題内容

##### ① 血液検査機器のシステム構築の有用性 18:00～18:45

坂場 幸治（防衛医科大学校病院 検査部）

##### ② 各施設における「血液疾患を見逃さないための工夫」18:45～19:45（各施設 15 分）

###### 1) 白血病を見逃さないための工夫

野木 岐実子（帝京大学医学部附属病院 検査部）

###### 2) CML 早期発見の工夫

常名 政弘（東京大学医学部附属病院 検査部）

###### 3) 血小板減少症例への対応

後藤 文彦（NTT 東日本関東病院 臨床検査科）

質疑応答（15 分）

休憩（15 分）

##### ③ 教育講演：20:00～21:00

臨床医が求める血液検査の報告（仮）

増田 亜希子（東京大学医学部附属病院 検査部）

事前意見（委員会欠席委員からのメールによる意見）

- a 座長が前回(第4回)と同じは良くないと思います。(マナーを避ける上で) どなたか別の方にお問い合わせ出来ればと思います。
- b 今回発表される施設は大規模施設ばかりなので、同じメーカーの機器が使用されているような事が無いでしょうか？もしそうであれば、異なるメーカーになるように、調整して頂ければ幸甚です。
- c 資料②の議事録には、「発表施設が大学病院に偏り過ぎているので、大学病院、市中病院、救急病院、検査センターなど規模や内容が異なる施設から発表してもらった方がよい。」と記載されていますが、それが実行されていないのではないかと思います。中小病院も対象にして頂ければ、幸甚です。
- d 異なる原理の装置（シーメンスのアドビアと弊社のペントラ）を組み合わせ、異常検体を検出している施設もありますので、紹介させていただきます。大分記念病院です。

常名委員よりセミナーの内容について説明があった。座長については稲葉委員と内藤委員にお願いしたい旨の提案があり、了承された。

また、事前にあった発表施設等に関する意見について議論した結果、今回は機器を中心とした前回セミナーの応用編であり、病態を中心とした施設規模や機種に関係のない普遍的な内容とする。さらに、坂場先生の発表に大、中、小規模病院、検査センターそれぞれの施設におけるシステム構築のポイントを加えていただくこととし、提案通りの内容で開催することが了承された。

「JJCLA」編集委員会へのセミナー内容の原稿は常名委員より提出する。

委員会事務局よりセミナー当日の役務について各委員へ協力要請があった。

## (2) 第6回血液検査機器技術セミナーの内容（案）について

担当：藤巻、三島

テーマ：「凝固検査のピットホール」

- ① 検体が原因でおこる異常反応  
ヘパリンなど薬剤の影響、HAMA 抗体などによる非特異反応、採血、前処理条件の影響
- ② 測定機器や試薬が原因でおこる異常反応  
凝固法、力学的方法、比色、ラッセクス凝集法など測定原理や検出方法ごとに長所、短所、注意点について解説
- ③ 教育講演

事前意見

- a 凝固のピットホールでHtの高値検体の対応について解説が必要ではないでしょうか？
- b 特別講演は免疫学的機序における凝固インヒビター（自己抗体）を総論的に行っていたらどうでしょうか？ループスとか後天性血友病とか後天性血小板無力症など

三島委員よりセミナー(案)の説明があった。検体が原因の異常反応にHt高値例を含める、採血や前処理条件については検査血液学会WGの検討結果が今年夏にまとまる予定なのでその内容を含めるなどの意見があった。さらに検体と機器に分けることが難しい、試薬に関しても難しいのではないかと意見があった。凝固関連メーカーの委員よりユーザーからの

問い合わせ事例などの具体例を三島委員へ提示いただき、それを基に次回委員会までに内容をブラッシュアップすることになった。メーカー以外の委員からも具体的な事例があれば連絡いただく。

講演の内容についても事前意見にあったインヒビターに関する内容以外に意見があれば三島委員まで提案する。

### (3) その他

三島委員より第4回セミナー終了後にまとめ、学会HPへ掲載している「自動血球分析装置における各種検体異常の捉え方」の表を雑誌「臨床検査」に引用したい旨の発言があり、本日欠席のメーカー委員の了解も得ることを条件に了承された。